

おほどものすくねやかもち
大伴宿禰家持、紀女郎に贈る歌一首

七七五番

鶉鳴く うづらな 故りにし郷ゆ ふ さと 思へども おも なにそも妹に いも
逢ふ あ よしもなき

きのいらつめ
紀女郎、家持に報へ贈る歌一首

七七六番

こと こと 言出しは こと 誰が言なるか た
中淀 なかよど にして こと 小山田 をやまだ の苗代水 なはしろみづ の